

鋼 船 規 則

鋼 船 規 則 検 査 要 領

C 編

船体構造及び船体艤装

鋼船規則 C 編

鋼船規則検査要領 C 編

2015 年 第 1 回 一部改正

2015 年 第 1 回 一部改正

2015 年 2 月 27 日 規則 第 15 号／達 第 12 号

2015 年 2 月 2 日 技術委員会 審議

2015 年 2 月 23 日 理事会 承認

2015 年 2 月 27 日 国土交通大臣 認可

ClassNK

一般財団法人 日本海事協会

鋼船規則

規
則

C 編

船体構造及び船体艤装

2015 年 第 1 回 一部改正

2015 年 2 月 27 日 規則 第 15 号

2015 年 2 月 2 日 技術委員会 審議

2015 年 2 月 23 日 理事会 承認

2015 年 2 月 27 日 国土交通大臣 認可

2015 年 2 月 27 日 規則第 15 号
鋼船規則の一部を改正する規則

「鋼船規則」の一部を次のように改正する。

C 編 船体構造及び船体艤装

20 章 倉口，機関室口その他の甲板口

20.2 倉口

20.2.1 適用

-2.及び-3.を次のように改める。

-2. 本節の規定にかかわらず，**B 編 1.3.1(13)**に定義するばら積貨物船及び要領 **C 編 C31.1.1-1.**を適用してばら積貨物船として登録を受けようとする船舶の貨物用その他の倉口の構造及び閉鎖装置は，~~CSR-B~~**CSR-B&T 編**の関連規定によらなければならない。

-3. ~~CSR-B~~**CSR-B&T 編**が適用とならない船舶の倉口に ~~CSR-B~~**CSR-B&T 編**の関連規定を準用する場合にあっては，~~CSR-B~~**CSR-B&T 編**の規定中，倉口縁材の腐食予備厚は 1.5mm と読替える。

27 章 艤装

27.2 曳航及び係留のための設備

27.2.2 曳航設備

-5.を次のように改める。

-5. 支持構造の腐食予備厚

支持構造の寸法は、ネット寸法に以下の(1)から及び(32)に規定される最小腐食予備厚を加えた値以上としなければならない。

- ~~(1) 規則 A 編 1.1.2-1.に規定するばら積貨物船にあっては、CSR-B 編 3 章 3 節に規定する腐食予備厚。~~
- ~~(2) 規則 A 編 1.1.2-2.に規定する二重船殻油タンカーにあっては、CSR-T 編 6 節 3 に規定する腐食予備厚。~~
- (1) 規則 A 編 1.1.2-4.に規定するばら積貨物船及び二重船殻油タンカーにあっては、CSR-B&T 編 1 編 3 章 3 節に規定する腐食予備厚
- (32) 前(1)及び(2)以外の船舶にあっては本会が適当と認める値とする。ただし、少なくとも 2mm とすること。

27.2.3 係留設備

-5.を次のように改める。

-5. 支持構造の腐食予備厚

支持構造の寸法は、ネット寸法に以下の(1)から及び(32)に規定される最小腐食予備厚を加えた値以上としなければならない。

- ~~(1) 規則 A 編 1.1.2-1.に規定するばら積貨物船にあっては、CSR-B 編 3 章 3 節に規定する腐食予備厚。~~
- ~~(2) 規則 A 編 1.1.2-2.に規定する二重船殻油タンカーにあっては、CSR-T 編 6 節 3 に規定する腐食予備厚。~~
- (1) 規則 A 編 1.1.2-4.に規定するばら積貨物船及び二重船殻油タンカーにあっては、CSR-B&T 編 1 編 3 章 3 節に規定する腐食予備厚
- (32) 前(1)及び(2)以外の船舶にあっては本会が適当と認める値とする。ただし、少なくとも 2mm とすること。

附 則

1. この規則は、2015 年 7 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあっては、この規則による規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。

*建造契約とは、最新版の IACS Procedural Requirement(PR) No.29 に定義されたものをいう。

IACS PR No. 29 (Rev. 0, July 2009)

英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
 - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
 - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
 - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
 - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから 1 年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。
3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考：

本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。

鋼船規則検査要領

C 編

船体構造及び船体艤装

要
領

2015 年 第 1 回 一部改正

2015 年 2 月 27 日 達 第 12 号

2015 年 2 月 2 日 技術委員会 審議

2015 年 2 月 27 日 達 第 12 号
鋼船規則検査要領の一部を改正する達

「鋼船規則検査要領」の一部を次のように改正する。

C 編 船体構造及び船体艤装

C7 肋骨

C7.1 一般

C7.1.8 船首部の波浪衝撃圧に対する考慮

-3.を次のように改める。

-3. 船の長さが 250m 以上であって、 C_b の値が 0.8 以上の船舶にあつては、規則 ~~CSR-TCSR-B&T 編 8 節 6.41~~ 編 10 章 1 節 3.3 の規定を準用すること。

C8 特設肋骨及び船側縦桁

C8.1 一般

C8.1.4 船首部の波浪衝撃圧に対する考慮

-4.を次のように改める。

-4. 船の長さが 250m 以上であって、 C_b の値が 0.8 以上の船舶にあつては、規則 ~~CSR-TCSR-B&T 編 8 節 6.41~~ 編 10 章 1 節 3.3 の規定を準用すること。

C16 平板竜骨及び外板

C16.4 外板に対する特別規定

C16.4.1 船首部の波浪衝撃圧に対する考慮

-2.を次のように改める。

-2. 船の長さが 250m 以上であって、 C_b の値が 0.8 以上の船舶にあつては、規則 ~~CSR-TCSR-B&T 編 8 第 6.41 編 10 章 1 節 3.3~~ の規定を準用すること。

C31A 新造ばら積貨物船の追加要件

C31A.6 二重船側構造及び貨物倉構造

C31A.6.2 貨物倉構造

-4.を次のように改める。

-4. 規則 C 編 31A.6.2-1.(3)の適用上、貨物倉に面する構造部材に取り付けられる防撓材は、当該防撓材に作用する圧力及び防撓材の軸方向に作用する圧縮応力を考慮して、次の (1)から (5)に規定する座屈強度基準を満足すること。ただし、本規定に代え、規則 ~~CSR-BCSR-B&T 編 6 章 3 節 4.21 編 8 章 5 節 2.3.4~~ に規定する座屈強度基準によっても差し支えない。座屈強度の検討は、代表的な積付状態に対して実施すること。

(以下省略)

附 則

1. この達は、2015 年 7 月 1 日（以下、「施行日」という。）から施行する。
2. 施行日前に建造契約*が行われた船舶にあっては、この達による規定にかかわらず、なお従前の例によることができる。
*建造契約とは、最新版の IACS Procedural Requirement(PR) No.29 に定義されたものをいう。

IACS PR No. 29 (Rev. 0, July 2009)

英文（正）

1. The date of “contract for construction” of a vessel is the date on which the contract to build the vessel is signed between the prospective owner and the shipbuilder. This date and the construction numbers (i.e. hull numbers) of all the vessels included in the contract are to be declared to the classification society by the party applying for the assignment of class to a newbuilding.
2. The date of “contract for construction” of a series of vessels, including specified optional vessels for which the option is ultimately exercised, is the date on which the contract to build the series is signed between the prospective owner and the shipbuilder. For the purpose of this Procedural Requirement, vessels built under a single contract for construction are considered a “series of vessels” if they are built to the same approved plans for classification purposes. However, vessels within a series may have design alterations from the original design provided:
 - (1) such alterations do not affect matters related to classification, or
 - (2) If the alterations are subject to classification requirements, these alterations are to comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are contracted between the prospective owner and the shipbuilder or, in the absence of the alteration contract, comply with the classification requirements in effect on the date on which the alterations are submitted to the Society for approval.The optional vessels will be considered part of the same series of vessels if the option is exercised not later than 1 year after the contract to build the series was signed.
3. If a contract for construction is later amended to include additional vessels or additional options, the date of “contract for construction” for such vessels is the date on which the amendment to the contract, is signed between the prospective owner and the shipbuilder. The amendment to the contract is to be considered as a “new contract” to which 1. and 2. above apply.
4. If a contract for construction is amended to change the ship type, the date of “contract for construction” of this modified vessel, or vessels, is the date on which revised contract or new contract is signed between the Owner, or Owners, and the shipbuilder.

Note:

This Procedural Requirement applies from 1 July 2009.

仮訳

1. 船舶の「建造契約日」とは、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。なお、この契約日及び契約を交わす全ての船舶の建造番号（船番等）は、新造船に対し船級登録を申込む者によって、船級協会に申告されなければならない。
2. オプションの行使権が契約書に明示されている場合、オプション行使によるシリーズ船の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で建造契約のサインが交わされた日をいう。本 Procedural Requirement の適用において、1 つの建造契約書に基づく船舶が同一の承認図面によって建造される場合は、シリーズ船と見なす。しかしながら、以下の条件を満たす設計変更にあっては、シリーズ船は原設計から設計変更を行うことができる。
 - (1) 設計変更が船級要件に影響を及ぼさない、又は、
 - (2) 設計変更が船級規則の対象となる場合、当該変更が予定所有者と造船所との間で契約された日に有効な船級規則に適合している、又は設計変更の契約が無い場合は承認のために図面が船級協会に提出された日に有効な船級規則に適合している。オプションによる建造予定船は、シリーズ船の建造契約が結ばれてから 1 年以内にオプションが行使される場合、シリーズ船として扱われる。
3. 建造契約の後に追加の建造船又は追加のオプションを含める契約の変更がなされた場合、建造契約日は予定所有者と造船所との間で契約変更がなされた日をいう。この契約変更は前 1. 及び 2. に対して、「新しい契約」として扱わなければならない。
4. 船舶の種類の変更による建造契約の変更があった場合、改造された船舶の「建造契約日」は、予定所有者と造船所との間で契約変更又は新規契約のサインが交わされた日をいう。

備考：

本 PR は、2009 年 7 月 1 日から適用する。